

## 第12回厚生常任委員会会議録

- 1 開会日時 平成27年11月10日（火）午後1時0分
- 2 閉会日時 平成27年11月10日（火）午後2時4分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
5番 丸山 明君                      7番 原田 素代君                      11番 福木 京子君  
13番 岡崎 達義君                      15番 小田百合子君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君                      副 市 長 内田 慶史君  
市民生活部長 新本 和代君                      保健福祉部長 石原 亨君  
保健福祉部参与 岩本 武明君                      赤坂支所長 正好 尚昭君  
熊山支所長兼 田中 富夫君                      吉井支所長 荒島 正弘君  
市民生活部参与 市 民 課 長 作本 直美君                      協働推進課長 青井 陽子君  
環 境 課 長 黒田 靖之君                      社会福祉課長 国正 俊治君  
子育て支援課長 国定 信之君                      健康増進課長 谷名 菜穂子君  
介護保険課長 藤原 康子君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 富山 義昭君                      主 事 青井 久君
- 8 協議事項 1) 平成27年度事業の進捗状況について  
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後1時0分 開会

○委員長（原田素代君） 皆さんこんにちは。

お忙しいところお疲れさまでございます。

ただいまから第12回厚生常任委員会を開会いたします。

開会に先立ちまして、友實市長より御挨拶をお願いします。

○市長（友實武則君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、市長。

○市長（友實武則君） 厚生常任委員会の皆様こんにちは。

本日は大変お忙しい中、第12回の厚生常任委員会をお開きいただきましてまことにありがとうございます。

きょうの議題でございますけども、協議事項としてお手元にお配りのとおり、平成27年度事業の進捗状況等について御協議をお願いしたいと思っております。後ほど、事務従事者のほうから説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

1 番目、平成27年度事業の進捗状況について、執行部の説明を求めます。

○協働推進課長（青井陽子君） はい、委員長、協働推進課、青井です。

○委員長（原田素代君） はい、青井課長、お願いします。

○協働推進課長（青井陽子君） それでは、協働推進課から人権啓発事業について御報告のほうをさせていただきます。

市民生活部資料の1 ページをお願いいたします。

まず、平成27年度赤磐市人権標語審査結果について御報告をさせていただきます。

人権標語につきましては、市民及び児童・生徒から人権に関する標語を募集することにより、人権についての理解と認識を深めるとともに人権啓発に入賞作品を活用し、市民一人一人の人権意識の高揚を図ることを目的とし、人権にかかわるもの全てをテーマに市内にお住まいの方、在勤、在学の方を対象として募集をいたしました。

審査でございますが、優秀作品として小学生部門から6点、中学生部門から3点、一般・親子部門から4点、合計13点を選び、さらにその中から最優秀作品を1点選びました。応募総数は1,574点で、小学生の部1,050点、中学生の部459点、一般の部30点、親子の部35点でした。

最優秀作品は、さくらが丘保育園保護者高橋陽平さんの作品で、「ねえきいて言葉にできないこの気持ち気づいてほしいSOS」に決まりました。

表彰につきましては、赤磐市人権を考えるつどいで優秀者の表彰式をさせていただくこととしております。人権を考えるつどいにつきましては、前回の委員会でも御報告をさせていただ

きましたとおり、12月6日日曜日13時から吉井会館多目的ホールにて開催をいたします。議員の皆様にもぜひ御参加のほう、よろしく願いいたします。

続きまして、平成27年度児童・生徒人権啓発ポスター審査結果について御報告をいたします。こちらにつきましては、岡山県の主催でございます。

県内の児童・生徒から人権に関するポスターを募集し、児童・生徒の人権についての理解を一層深めるとともに、人権啓発に入賞作品等を活用して県民一人一人の人権意識の高揚を図ることを目的とした募集でございます。

県内での応募総数は2万435点で、そのうち赤磐市からの応募総数は707点です。内訳といたしまして、小学生352点、中学生355点でした。

審査結果でございますが、赤磐市内の小中学生からの入選は小学校の部が13点、中学校の部が6点、全部で19点ございました。

赤磐市においても、県の審査とは別に応募のあったポスターからカレンダーへ掲載するための作品を審査し、31点を採用させていただきました。カレンダーへの採用作品につきましては、人権標語の優秀作品とともに平成28年版赤磐市人権カレンダーの作成に活用させていただきます。人権カレンダーは、広報あかいわ12月号と一緒に市内全戸に配布をさせていただくこととしております。

協働推進課からは以上でございます。

○委員長（原田素代君） 続いてお願いします。

○市民課長（作本直美君） はい、委員長、市民課、作本です。

○委員長（原田素代君） はい、作本課長。

○市民課長（作本直美君） では、マイナンバーについてでございます。

お手元のほうに黄色いチラシを2枚、それから1枚白い紙でのカラーコピーのものをお配りしておりますが、マイナンバーにつきましては、今徐々に配られていっております。その中で、先週県のほうから総務課のほうにこの黄色いチラシ2枚が届いております。1枚目は個人の方を対象に、それから2枚目は事業者の皆様ということで、赤磐市のほうに750部届いているということで窓口、それから支所、出張所のほうにこちらを置かせていただいております。

それで、あと一番最後のこのマイナンバー総合フリーダイヤルということですが、こちらのほうは無料という線を設けられたということでオープンになっております。こちらのナンバーにかけられますと無料でいろいろお問い合わせができ、またその下のそれぞれのダイヤルのほうでも通じるようにはなっており、有料のほうにかけられましたら一応無料のナンバーがありますということで御案内をされているということでございます。

マイナンバーにつきましてはですが、赤磐市のほうでは15日以降郵送してそろそろお手元にとっておりましたが、郵便局からのまた再度の情報によりまして、さらに少しずれて20日以降、月末までというようなことで伺っております。郵便局の方もいろいろこちらのほうに

御配慮いただいております、1回の郵便で不在の場合は2回は回ってくださるとか、今回の件につきましては不在票は全国的にピンク色の紙でわかりやすいものにするとか、いろいろ周知できる方法を考えて進められているようでございます。県下でもまだ余りどこも届いているところがないという状況でございますが、また詳しいことがわかり次第、いろいろ御報告させていただきたいと思っております。一般的なチラシにはなっておりますが、こういうことで皆様のほうにお知らせするようになっております。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

続いては、どちらのほうか。一応、部でしていただいたほうがわかりやすいので。

その他に行ってください。

○市民生活部長（新本和代君） 委員長、市民生活部、新本。

○委員長（原田素代君） 新本部長。

○市民生活部長（新本和代君） それでは、12月定例議会に提案予定議案について御説明をさせていただきます。

資料の2ページをお願いいたします。

1番目でございますが、地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告についてでございます。

前回の厚生常任委員会で、10月5日に環境センターで持ち込みをされた方の車両が自動ドアと接触し、左後部バンパーが破損した事故につきまして御報告させていただきました。その後、保険会社と協議いたしましたところ、過失割合につきましては市の過失割合が10割ということになりました。バンパー等の修理代金19万3,237円が損害賠償額でございます。10月16日に示談成立し、全国町村会総合賠償保険から相手方へ既に振り込まれておりますので、12月議会で報告させていただきますので、よろしくをお願いいたします。なお、市の自動扉等の破損はございません。

続きまして、2番目の和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合を組織する市町の減少及び和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合規約の変更についてでございます。

ことし5月の厚生常任委員会で御報告させていただきましたが、備前市が平成28年3月31日をもって組合から脱退する脱退届が提出されておりますので、規約変更をさせていただくものでございます。備前市脱退後は赤磐市、和気町の1市1町で運営することになります。規約変更が必要ですので、地方自治法第290条に基づき上程させていただきますので、よろしくをお願いいたします。

次に、3ページをお願いいたします。

平成27年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）についてでございます。

初めに歳入でございますが、14款国庫支出金、委託金、民生費委託金でございます。平成

28年7月1日から施行される国民年金の年金猶予制度の対象年齢を30歳未満から50歳未満に拡大されることに伴う国民年金システムの改修に係る費用41万5,000円を計上させていただいております。

歳出では、3款民生費、社会福祉費、社会福祉総務費でございまして、人事異動に伴う人件費の増額により国民健康保険特別会計繰出金のうち職員給与費等繰出金399万3,000円を増額をさせていただくものでございます。

次に、同じく民生費の高齢者福祉費でございます。後期高齢者に関する住基人口に基づく負担金割合が確定したため、岡山県後期高齢者医療広域連合に対して負担金を12万7,000円増額させていただくものでございます。

次に、国民年金費でございます。先ほど歳入で申し上げましたが、国民年金制度の改正に伴う国民年金システムの改修に必要なため、システム保守委託料を41万6,000円増額させていただきますので、よろしく願いいたします。

次に、4ページをお願いいたします。

歳入では、20款諸収入、住宅新築資金等貸付金元利収入でございます。債務者から貸付金の繰上償還、平成28年度から31年度までの4カ年間分19万8,000円が繰上償還されたことにより増額でございます。

歳出では、12款公債費です。繰上償還に伴い、繰上償還された金額をそのまま地方債の借入先へ繰上償還させていただくため、増額させていただいております。

続きまして、5ページをお願いいたします。

4款衛生費、保健衛生総務費の負担金の増額でございます。当初予算では、利用者割とか人口割が確定しておりませんでした。負担金の額が確定したことによりまして、増額をお願いするものでございます。柵原吉井英田火葬場施設組合負担金3万2,000円と、和気北部衛生施設組合負担金50万7,000円、合計で53万9,000円の増額でございます。

続きまして、6ページをお願いいたします。

平成27年度赤磐市国民健康保険特別会計事業勘定の補正予算（第2号）についてでございます。

歳入では、9款繰入金、一般会計からの繰入金399万3,000円でございます。人事異動に伴う人件費の増によりまして一般会計から繰入金の増額でございます。

歳出では、1款総務費の一般管理費で人事異動に伴う人件費の不足分を増額させていただくものでございます。

市民生活部からは以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（原田素代君） 進行状況の報告と12月議会への予定議案のほうの説明を一緒をお願いしておきました。

委員の皆さんのほうは、それぞれで結構ですので御質疑や御意見などありましたらお願いい

たします。よろしいでしょうか。

○委員（丸山 明君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、丸山委員。

○委員（丸山 明君） 一般会計の3ページです。

人件費増によりと、ほかにもあったと思うんですけど、人件費増により399万円、400万円ほどが増額になったということなんですけど、ちょっと意味がようわからなくて、人事異動によりなんですよね、人事異動によってこれだけの金額が動くっていうのはどういうことなん、もうちょっとわかるように説明してほしいんですが。

○委員長（原田素代君） このぐらいの説明をお願いします。

○市民生活部長（新本和代君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 新本部長。

○市民生活部長（新本和代君） 国保の特別会計のほうに携わっている職員は4名おります。そのうちの2名が4月の人事異動で管理職手当等がつくようになりました。それに伴いまして、本俸が上がったというのもございまして、主なものはその2名の人事異動で、管理職になったことが主な要因でございます。人数とかはそのままでございます。

○委員長（原田素代君） よろしいですか。

ほかのところではよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、続いて保健福祉部のほうから、お願いします。

○社会福祉課長（国正俊治君） はい、社会福祉課長、国正です。

○委員長（原田素代君） 国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） 私のほうから保健福祉部資料の1枚おはぐりいただきまして、1ページについて御説明をいたします。

平成27年度の2つの給付金の進捗状況でございます。

臨時福祉給付金給付事業と子育て世帯臨時特例給付金給付事業でございます。事業の中身については、何度か説明させていただいております。四角で囲んだ部分が事業の概要でございます。申請状況と支払いの状況について御報告したいと思っております。

まず、福祉給付金のほうでございますが、申請案内を7月末に対象と見込まれる方に申請案内のほうをさせていただいております。5,952件、9,228人分でございます。申請状況ですが、申請の受け付け最終日、11月4日の17時現在で市役所本庁に届いている分の件数でございます。申請件数が4,626件、案内に対しまして76%、対象者数でいきますと7,217名、78.2%の申請を受け付けております。現在、支払いの決定を処理して11月6日までの支払い予定のものが、下に書いております4,237件、6,757人分、金額にいたしまして4,054万2,000円でございます。申請いただいた数と支給決定の差389件につきましては、44件の方が却下、ほかの方につ

きましては今審査中で支払いの手続のほうをしております。76%という申請率ですけど、26年度の申請率と比較しましてほぼ同じ数字となっております。

次に、下の子育て世帯のほうでございます。こちらは、申請案内のほうを児童手当の現況届の提出依頼に同封して、申請書のほうをお送りしております。申請案内の件数が3,153件、対象の児童が5,532人でございます。申請状況ですが、御案内をしていますのは公務員以外の方で3,089件、5,400人分の申請を受け付けております。そのほかに公務員としまして248件、421人分の申請を受けております。申請率のほうは、件数でいきますと98%。64件の方、64人の方が申請をされておられません。前にも御報告したかと思えますけど、申請締め切り日の2週間前に約100人の方に忘れてませんか、出してくださいねという御案内をさせていただいております。支給の状況です。3,266件、5,703人分で1,710万9,000円の手当のほうを支給しております。71件の差がございます。この71件につきましては、所得制限額オーバーで却下となっております。

以上でございます。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） はい、委員長、健康増進課、谷名です。

○委員長（原田素代君） はい、谷名課長お願いします。

○健康増進課長（谷名菜穂子君） (2) 2番の24時間電話健康相談事業の進捗状況を報告させていただきたいと思えます。

10月31日までの利用件数ですが59件の相談がありました。うち、消防本部からの転送は3件でした。一番最初の前半の10月1日から10月8日13件、10月1日から20日まで28件でした。10月1日から31日まで59件で、トータル、最後の10日が非常に伸びた状況でした。それは、28日に山陽新聞に掲載されたことが影響しているのかなあというふうに思われます。掲載後、当日とその次の日ぐらいまでには非常に保健センターのほうにも御意見や問い合わせが多かったです。特にそれ以後、問い合わせとか苦情とかの相談は受け付けておりません。

以上です。

○委員長（原田素代君） じゃあ次、お願いします。

○保健福祉部長（石原 亨君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、石原部長。

○保健福祉部長（石原 亨君） それでは、2番目のその他、(1)の12月定例議会提案予定案件について説明をさせていただきます。

資料は2ページでございます。

まず、①でございます。地域活動支援センターあかさかの指定管理者の指定についてということで予定をしております。対象の施設は、地域活動支援センターあかさか、現在わかたけ作業所が使っている施設でございます。現在、3年間の指定管理者の指定ということでわかたけに管理をお願いをしているところでございます。これが平成28年3月31日で切れるということ

から、新たに選定をいたすものでございます。指定管理者としては、現在使っていただいとるわかたけにお願いをしたいと考えております。指定の期間でございますが、平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5年間としたいと考えております。非公募でお願いしたいと思っております。

続いて、②の平成27年度一般会計補正予算（第3号）についてでございます。補正予算の繰越明許費補正でございますが、こちらに3款2項公立保育園再編事業を追加させていただくというものでございます。金額につきましては1億1,254万8,000円でございます。これは、造成事業の工事費をこちらに上げさせていただこうと考えているものでございます。

それから、3表の債務負担行為の補正でございます。こちらに旧赤磐市民病院跡地活用に係る基本構想作成業務を追加するものでございます。期間は平成27年度から平成28年度まででございます。限度額を594万円とさせていただいております。事業の内容につきましては、前回の厚生常任委員会でも説明をさせていただきました。本施設を介護福祉施設として活用するに当たり、類似事例の調査、事業手法の比較、検討及び民間意向調査などを行い、基本構想をまとめるということとしております。

続きまして、職員の人件費についてでございます。人事異動等による調整を行っております。3款の社会福祉総務費では217万8,000円の追加を予定しております。4款の保健衛生総務費では1,187万3,000円の減額ということで計上させていただきたいと思っております。なお、この補正では人事院勧告分は含んでおりません、ということでございます。

続いて、3款1項1目社会福祉総務費に平成26年度に実施しました臨時福祉給付金事業及び子育て世帯臨時特例給付金事業について、事業費確定に伴う国庫支出金の返還金を計上いたしております。臨時福祉給付金分は57万2,000円、子育て世帯臨時特例給付金分は12万1,000円でございます。

同じく3目高齢者福祉費に入所措置者が1名ふえたということから、老人保護措置負担金を追加いたすものでございまして、70万円を追加するものでございます。それから、3ページに移りまして、同じ目の特別会計繰出金について、職員人件費の増減に合わせ調整をするものでございます。介護保険特別会計繰出金に職員人件費補正分を追加いたしております。944万1,000円の追加でございます。訪問看護ステーション事業特別会計では、現予算の繰出金から職員人件費分を減額をいたすもので2,001万4,000円を減額といたすものでございます。同じ目の介護予防・生活支援事業に利用者の増加に伴う配食サービス事業委託料、こちらを追加するもので166万円を追加いたしております。

4目の障害者給付事業につきましては、人工透析患者等の大幅な増加によりまして自立支援医療給付費を追加いたしております。536万円を追加するものでございます。こちらには、国、県の補助金がごらんのように括弧書きで示しております。これだけの国県補助金が出ます。



続いて、2項1目児童福祉総務費の一般管理費に放課後児童クラブ学習支援事業補助金の対象となるクラブが3クラブふえたということから、放課後児童クラブ補助金の追加をいたしております。110万1,000円でございます。同じく平成26年度保育緊急確保事業の事業費確定に伴う国庫支出金の返還金が出ておりまして、297万1,000円を返還するという事で追加をさせていただきます。合わせてこの目では、407万2,000円の追加ということになります。この目で歳入につきまして、国庫県支出金については、子ども・子育て支援新制度施行に伴い当初予算編成時に比べて大きな変更がございました。今回、事業費の調整に合わせ財源についても下記のとおり調整をするものでございます。国庫補助金、県補助金につきまして、ごらんとおり補正をいたしまして、合わせて28万7,000円の減額とするものでございます。これは、国の予算体系が変わったということによるものでございます。同じく同目の児童福祉総務費の障害児施設支援給付事業でございますが、障害児通所施設の利用者が増加しているということから、障害児施設支援給付費等を追加するものでございまして、1,931万円の追加ということになります。これには、国、県の補助金が括弧書きのとおり歳入されることとなります。

2目の児童措置費でございます。平成26年度児童手当交付金事業の確定に伴う国、県の支出返還金が生じておりますので、48万6,000円を計上するものでございます。

3目の母子父子福祉費のひとり親家庭福祉事業につきましては、平成26年度助産施設等措置費確定に伴う国、県の返還金が生じておりまして24万8,000円を計上するものでございます。

続きまして、4ページでございます。

4目児童福祉施設費の保育園運営事業でございますが、保育園入園児の増加と、子ども・子育て支援事業で施設型給付事業の各種加算が拡大されたことによる保育園運営費委託料の追加でございます。1億7,128万6,000円を追加いたすものでございます。及び、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金につきましては、先ほど説明しました施設型給付事業に含まれるということになったため減額をするもので、2,207万6,000円を減額しております。合わせてこの目では、1億4,921万円の追加ということになります。ここでも、歳入につきましては国庫県支出金について子ども・子育て支援新制度施行に伴い、当初予算編成時に比べ大きな変更がございました。今回、事業費の調整に合わせ財源についても調整をいたすものでございます。国庫負担金、県負担金につきましてはごらんとおり増減をいたしまして、あわせて1億1,214万6,000円を追加するものでございます。同じく同目の公立保育園再編事業の赤坂地域統合保育園用地造成工事については、地元関係者、関係機関等との協議によりまして赤坂支所用地の取り込み、交差点改良の追加、盛り土高の変更などによりまして事業費がかさみ、不足分を追加させていただくというものでございます。3,350万円の追加でございます。こちらには、合併特例債、起債を充当する、3,190万円を充当することといたしております。

3項2目の扶助費でございます。平成26年度事業確定に伴う生活保護費の国庫返還金を計上いたしております。5,541万円の計上でございます。こちらは主に医療費でございまして、医

療費分が5,100万円含まれているものでございます。

4款1項1目保健衛生総務費の国民健康保険特別会計診療勘定の繰入金につきましては、現予算から職員人件費補正分を減額いたすもので511万4,000円を減額とすることとしております。内訳につきましては熊山診療分、佐伯北・是里診療分、括弧書きのとおりでございます。

同項の5目乳幼児等医療費の乳幼児等医療費事業に不足が見込まれるということから、今回医療費を追加させていただくもので、900万円を追加することといたしております。県補助金、起債、これは過疎債でございますが、括弧書きのとおり財源充当することといたしております。

続きまして、5ページでございます。

こちらは、特別会計でございます。

③でございます。赤磐市国民健康保険特別会計の補正予算（第2号）につきましては、熊山診療所、佐伯北・是里診療勘定分につきまして人件費の調整に伴う繰入金の調整ということで予算計上させていただきます。

歳入では、一般会計繰入金を118万9,000円減額いたすものでございます。

歳出では、総務費の一般管理費の職員人件費の減額ということで118万9,000円を減額するというものでございます。

是里診療勘定分につきましては、繰入金を392万5,000円減額をすることとしております。歳出では、一般管理費の職員人件費を392万5,000円減額をいたすものでございます。医療費の医療用機械器具費につきましては、電子カルテのモニターを購入するというもので43万2,000円を追加、予備費でマイナスの43万2,000円として、歳出の合計額を392万5,000円の減額とするものでございます。

④でございます。介護保険特別会計補正予算の第2号につきましては、保険事業勘定について補正をするものでございます。

歳入では、国庫補助金、県補助金につきまして、包括的支援事業費の変動によりまして国庫補助金につきましては17万8,000円の減額、県補助金は8万8,000円の減額をするものでございます。一般会計繰入金は944万1,000円、これは人件費分を追加するものでございます。歳入で合わせて917万5,000円を追加するものでございます。

歳出では、総務費の一般管理費、人件費について925万円を追加するものでございます。介護認定審査会費では、事務補助者賃金を追加するというもので、27万9,000円を追加いたしております。包括的支援事業、任意事業の職員人件費では45万7,000円を減額するものでございます。予備費で10万3,000円を調整いたしまして、歳出の合計は917万5,000円の追加ということで予算計上しております。

⑤の訪問看護ステーション事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、歳入で一般会計からの繰入金を2,001万4,000円減額いたしております。前年度繰越金として369万6,000円を

追加、合計額を1,631万8,000円の減額といたしております。歳出では、職員人件費を1,631万8,000円減額するものでございます。

以上が12月議会に提案する案件でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

保健福祉部関連の提案を終わりました。

委員の皆様の方からの御意見、御質疑をお願いします。

○委員（丸山 明君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、丸山委員。

○委員（丸山 明君） 2ページなんですけども、一番上の地域活動支援センターあかさかの指定管理の指定ということで、来年の春からということです。今、あそこは訓練のためということで食事の提供なんかをやっとると思うんですけど、そのあたりは過去、来年の春までですけども、うまくいってるのかどうか、続いて指定をもちろんされるんですけども、今までの事業が割と形骸的な内容かなというふうな感じもしたんです。中の調理をしたりするっていうふうなことは今まで余りしてなくて、主に手配っていいいますかそういったものを中心にやられてたと思うんですけども、そのあたり少し内容的にどうなんですか、改善していく方向になるんでしょうか、お尋ねをいたします。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） まず、事業所の事業の内容としましては、指定申請の内容によりますと就労継続支援B型事業所といいます。通常、雇用契約を結ばない福祉的な就労訓練の場として訓練をするものでございます。あそこでしている作業の内容としましては、工場から来ましたゴムの端の切り取りのような内職仕事、それからバンガラ、カキのホタテガイを針金に通すような仕事、それからもう一つは先ほどもお話しになりましたコミュニティカフェでの、調理は訓練に来ている、通所されてる方はしなくて、配膳、接客の仕事をお世話になっております。そのほかに新たに配食サービス事業のほうも高齢者福祉費では委託をするんですけど、そちらのほうも近く始めていただきまして多様な活躍の場というのを少しずつ広げてくださっています。大体十数人、20人足らずぐらいの平均での利用がございまして、経営的にも安定してきて作業工賃なんかほかの事業所には遜色ない程度の作業工賃が見込めるようになっております。順調に経営できてるというふうな判断をしております。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） はい、丸山委員。

○委員（丸山 明君） その配膳、食材の地域のサービスといいますか、カフェみたいなことをやられてますが、食事をつくるようなところまでは無理なんですか、そのいうふうな訓練みたいなことは始まらないんでしょうか。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） また、保健所のほうの関係もございまして、調理を担当する者は検便とか、あるいは多分検食というんですか、検体をとって食材なんかも保存して食品衛生上の処理なんかもしております。そういう関係で、利用者さんに調理のところをさすところはしてないようでございます。あくまでも配膳、接客の部門ですること、地域の中で暮らしていく自信をつけていただくというのが目的でございまして、そちらのほうでやらせていただいているようです。

○委員長（原田素代君） よろしいですか。

ほかの委員の方でありましたらお願いします。

済いません、3ページの、私のほうから聞きたいんですけど、学童クラブの学習支援事業の補助金が3クラブふえたというふうに書いてあるんですが、ふえる前は何かクラブだったのかわかるのをまず教えてください。

○子育て支援課長（国定信之君） はい、子育て支援課、国定です。

○委員長（原田素代君） はい、国定課長。

○子育て支援課長（国定信之君） こちらの放課後児童クラブの学習支援事業の補助金対象になるクラブなんですけど、前には6クラブが申請を出しておられまして、それについては9月の補正のほうでさせていただいてますので、これで9クラブが実施されるということになります。

以上です。

○委員長（原田素代君） 重ねてお聞きしますが、そうすると14でしたっけ、13でしたっけ、今赤磐市内の学童クラブの中で、残りのクラブは今後申請する条件があって今後するんでしょうか、それとももう9クラブ以外は申請を見込んでらっしゃらないのですか、その辺はどういうことになってますか。

○子育て支援課長（国定信之君） はい、委員長、子育て支援課、国定です。

○委員長（原田素代君） はい、国定課長。

○子育て支援課長（国定信之君） 残りが15クラブありますので6クラブということになりますが、こちらのほうにはお話のほうはしておるんですけど、今年度のほうは特にこちらの対象になるようなことはないということで、今年度は一応されないというふうにお聞きしております。

以上です。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

皆さんのほうであと何かお尋ねになつたほうがいいことはありませんか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでしたら、質疑は終わります。

あとは執行部のほうからお願いします。

○市民生活部長（新本和代君） 委員長、市民生活部、新本。

○委員長（原田素代君） はい、新本部長。

○市民生活部長（新本和代君） それでは、きょうお手元のほうに第2次赤磐市総合計画（案）についてということで、冊子をお配りさせていただいたりします。

第2次赤磐市総合計画策定の経過につきましては、前回の委員会でも御報告させていただきましたとおりでございます。前回の厚生委員会では、素案に対する御意見やパブリックコメントの意見結果を御報告させていただいたところでございます。本日、最終案をお配りしておりますので、お目通しをお願いいたします。なお、平成27年12月第5回赤磐市議会定例会に議案の上程をさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

○保健福祉部長（石原 亨君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（原田素代君） はい、石原部長。

○保健福祉部長（石原 亨君） ただいまの説明に少し追加をさせていただきたいと思えます。保健福祉部関係の、特に子育てに関して今後取り組もうとしている事業等につきまして、説明をさせていただきたいと思えます。

子育てするならあかいわ市というサブタイトルをしまして、10月末に策定した赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略や、現在策定中のこの第2次赤磐市総合計画に盛り込んだ安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創るという重点戦略を実現させるために子育てに関して重点的に取り組む事業として、二、三、例を挙げて説明をさせていただきたいと思えます。

現在、中学生まで無料としている乳幼児等医療費助成につきましては、対象年齢を拡大する方向で現在検討をしているところでございます。

次に、赤坂地域で整備を進めております認定こども園につきましては、通常保育のほかに特色のある保育サービスの充実に向け、検討をしているところでございます。桜が丘東地域では、近年就学前児童数の増加が続きます、大変保育需要が高まってきております。これに対応するため、市有の保育園用地に保育施設を整備する方向で、現在関係者と協議を始めたところでございます。

放課後児童クラブにつきましては、利用児童数が増加してきており、新たに施設を増設することなどによりまして対応してまいりたいと考えております。

これら述べました事業につきましてはほんの一端でございまして、戦略目標を達成するため、子供は赤磐市の未来を担う宝であり、地域の子供は地域で守り育てる、また赤磐市で子供を産み、育てたいという気持ちを抱いてもらえるような諸施策、諸事業を展開してまいりたいと考えております。これらの計画の中に、こういうことを盛り込んでいきたいと思っているところでございます。

追加説明として以上でございます。よろしくお願いいたします。

○副委員長（福木京子君） 一つそれで。

○委員長（原田素代君） はい、福木委員。

○副委員長（福木京子君） 中学卒業までの医療費の無料化で、拡大する方向ということは高校生まで無料化しようという方向の検討をするということですか。

○保健福祉部長（石原 亨君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、石原部長。

○保健福祉部長（石原 亨君） そちらの方向で今検討を進めているところでございます。

○委員長（原田素代君） はい、福木委員。

○副委員長（福木京子君） その際、やはり無料化は絶対中学までは守るべきだと思う。これまでの経験上、無料化がなくなるような後退をしながら、それはいけないという運動が起こって、それを無料化にまた戻して、さらに年齢を段階的に上げてきた経験があるんです。だから、無料化は絶対守るべきだというのは、ここで私は主張しておきたいと、それにさらに年齢の引き上げを検討をされるんだったら大いにいいということ意見を言うておきたいと思いません。

○保健福祉部長（石原 亨君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、石原部長。

○保健福祉部長（石原 亨君） 御意見として参考にさせていただきます。

○委員長（原田素代君） ほかのところで何かございますか。

執行部のほうは、あとありますか。

○保健福祉部長（石原 亨君） いえ、以上です。

○委員長（原田素代君） 終わりました。

そしたら、その他のところで委員の方にもしあれば。

○委員（丸山 明君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、丸山委員。

○委員（丸山 明君） スケジュール表の中に入ったんですけども、赤坂のエスク、あそこのかさ上げが、竣工の式典が行われるというようなことを、ちょっと聞いたんですけども、何かこれは報告が事業者のほうから入ってるんでしょうか。かさ上げが済んだということについて、今後のことなんですけど、ちょっとわかる範囲で結構なんで、お答えいただけたらと。

○委員長（原田素代君） はい、黒田課長。

○環境課長（黒田靖之君） エスク岡山の事業につきましては、本日だろうと思います、本日で現場のほうは終了というお話をお聞きしております。ですから、今まで相当月日がたちましたけど、当初の計画の準備段階がこれで一通り現場としては整ったということで、あとは岡山県に事業の完了報告というものを申請されて、県の確認ということで許可ということになれ

ば、そこから事業開始という運びになるというふうなスケジュールとなっております。こちらのほうの情報としては、今そこまでの情報しか得ておりませんが。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） はい、丸山委員。

○委員（丸山 明君） 今の話ってというのは、エスクのほうから直接そういう話が入ったということなのかということの確認と、今後5メートルのかさ上げが済んだわけですから、今後の搬入の予定みたいなことがあわせて出てくるのかなあと、その搬入っていうか、今まで事業がここで5メートルのかさ上げが、埋め立てが完了したということなんですかね。

○委員長（原田素代君） はい、黒田課長。

○環境課長（黒田靖之君） 今回の工事が本日で完了という部分につきましては、これから向こう何年かという話になりますけど、現在で計画が1次終わったものの上に、なおかつ約5メートル余りの廃棄物処理を行っていくための施設の周辺へ堰堤をつくりまして、その中に廃棄物を埋めていくということが今後進んでいくわけなんですけど、その堰堤の部分が工事が本日で終了ということの報告を受けたのと、私のほうが確認という部分をあわせて確認しております。

○委員長（原田素代君） わかりました。

ほかにありませんか。

エスクのことですけど、そのかさ上げ分はこれからということですが、この間、工事中の間も入ってるんですよね、投入されているんです、ダンプが来て。あれは要するに、当初の計画ではこれ以上でもうマックスだから終了と、だけど新規に5メートルのかさ上げ分でこれからやりますと。そうすると今までストップしてたかっていうとダンプが入ってるんですよ、エスクに、その工事中でも。その辺っていうのはどこで線引きがされているかっていうのはわかりますか。

はい、黒田課長。

○環境課長（黒田靖之君） 完了の部分というのは、県のほうが最終的には確認をされてという話になろうかと思うんですが、継続性を持って事業、排水処理も当然そういうことになるんですが、継続的にやっていかなければならないという大前提がありますので、完璧に終わったという形で新しい堰堤の分をつけていくんじゃなくて、多少保有力を持たせた手前の部分で申請をやっていきながら完成に向けて、それが終了を迎えるという計画性を持ってやっていきますんで、現状の部分ではそれは問題ないと考えております。

○委員長（原田素代君） 以上ですが、あとほかの方はいかがですか。

一度見てみたいですね、その工事が完了して、5メートルどのぐらい入るものなのか、さらに。

○委員（小田百合子君） わからないでしょ。

○委員長（原田素代君） いや、堰堤が5メートル分上がったんだから、ボリュームは見えると思いますけど。5メートルっていったら2階建て以上伸びるんですよ。一応、区切りのついた事業ができてるということです。

ほかのことで皆さんのほうから。

あと私一つ聞きたいんですけど、例のとくし丸。あの進捗状況がどんなになってるかなあと、思って、気になってるんですけど。力が入ってる担当の方から、国正課長お願いします。

○社会福祉課長（国正俊治君） 現在、関係機関と調整しとります。実は、あす商工会のほうとお話をする、やはりこの事業自体は地元の商店さんにも大変影響することになりますので、そこの調整をしっかりとかんといけんよという有識者からの御助言もいただいておりますので、そちらのほうも調整しながら、まずはその9月のときに御説明しましたように、そういう事業のスキームで、とくし丸と決めたわけではありませんので、そういうスキームでやってくださるスーパーさんをまずは獲得するということになりますので、できればその地元の商店さんが手を挙げてくださって、赤磐の事業者さんがそういうスキームで自分とこの事業もよくして、ついでに買い物の困難者も救いながら見守りもしてくれれば一石二鳥、三鳥なので、そのあたりで調整をしとります。

華々しくこのように進んでおりますと、済いません、きょうの段階では申し上げかねます。頑張っていきたいと思っております。決意表明ですけど、済いません。

○委員長（原田素代君） いや、気になるのは予定では、遅くとも今年度中3月にはっていうお話だったんで、そのスケジュール的には今追ってるのか、厳しいのかっていうその辺の見通しはどうかと思っております。

はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） 大変苦しい、息苦しく感じております。まず、そういう事業所さんとの調整の方向、それともう一つはスマホとかタブレットを使って私が描いた簡単な絵を見てもらったと思っておりますけど、報告書を書いたりするのが面倒ですから、登録してスクロールしてぽんと押せば、その日にお会いしてお元気だったよとか調子悪かったよというだけの簡単なシステムというのもつくっております。これのほうにつきましては、市と関係の深いベンダーさんのほうで開発のほうとか御提案をいただくように今させていただいてまして、それはそちらのほうで正式な契約ではないんですけど、御提案いただくように今プッシュしております、大分これはできてきつつあります。先月の中旬以降ぐらいには1回出そうかなって言うてたんですけど、まだ来てません。これもちょっと息苦しく感じております。頑張ります。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。無理をなさらずに頑張ってください。

ほかによろしいでしょうか、委員の方々。

はい、どうぞ、福木委員。

○副委員長（福木京子君） 緊急通報システムの分は、設置する場合は希望が、1万2,000円



か3,000円か設置費用が要るでしょう。だから、そこまでしない人で玄関をうろうろしたら安否がわかることを何かやりましたね、何年か前に。それが、その後どうなってるんか。

やっぱりひとり暮らしがふえ、皆病気で何かあったらどうするかなあという声をよく聞くんで、いろんなことが充実していけば、何とか早く見つけられるんですけど、ちょっとそこが気になってて。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） 市内にありますセイテックさんという事業者さんの人感センサーを使いました見守りのシステムでございます。平成24年度の地域支え体制づくり事業補助金のほうをいただきまして、その機械のほうを導入させてもらったものでございます。約2年少々ぐらいやってまいりまして、実績とすれば10台程度今出ておりまして、それで本当に救えるのかっていう実証実験ということでやらせてもらってるんですけど、例えばトイレの前とか必ずおひとり暮らしの方が通る場所に人感センサーをつけるんです。そこを通るとそのセンサーが反応して電話回線を使ってパルス信号を送って、生きてるよっていう反応をコンピューターで管理して、一定時間、8時間とか10時間を設定するんですけど、反応がなかったら異常とコンピューターが判断して受信センターを経由して、御本人のお宅やら近隣協力員さんに連絡して見てもらうという方式です。やってみたら、私の感想をきちっとまとめたわけではございませんけど、能動的にああ胸が苦しい、こけて腰の骨を折ったみたいというてボタンを押すのとは違って、緊急時の特定に不安というか、本当にそれで救えたかというこの2年間で10の方がそれがついてたから命が救われたという事例はございません。大きい意味でいえば、協力員の方がそれをつけたからよく見守ってねということで、地域での見守りの仕組みができて、大きい意味では成果はあったと思うんですけど、この機械があったから救えたかというともう少しどうかなというふうな感想を持っております。今後につきましては、どのようにしていくか今考えてるところでございます。

○副委員長（福木京子君） その後何にも話を聞かなんだから、どうかなあと思って。

それで、山陽町時代は設置するにも一応無料で設置されたんで、心配だったらある程度制限があるけど、気軽にそれが利用できとったけど、やっぱりちょっと考えないけんでしょ、1基に1万円幾らのあれを設置せないけんから。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） 今、2つの事業がまざって……。

○副委員長（福木京子君） 緊急には緊急事業の……。

○社会福祉課長（国正俊治君） 先ほどのやや効果についてはどうかなって思っているのは人感センサー方式の見守りのシステムです。それから、合併前の赤磐消防組合の時代からやっている平成6年からやってる消防受信センター方式の緊急通報システム、ボタンを押せば消防署につながって助けに行く、救急車が来てくれたり、近隣協力員さんに通報をするという仕組み

でございます。先ほど副委員長がおっしゃっていたのは、消防受信センター方式の緊急通報システムの新設の場合の設置費用を有料化したことについて御指摘いただきました。これについては、財政がもう、これも何度も過去にも御説明しておりますけど、1回限りなんです。その分だけ利用者さんのほうにも負担してくださいよということをお願いしております。2年に1度の電池交換につきましては、これも電池だけでも6,000円とか8,000円とかします。それには、シルバーさんに頼めば2,000円程度の手数料もかかるんですけど、1万円ぐらいかかるんです。それから、受信センターを維持するだけでも保守費用とか機械の減価償却、いろいろと相当かかっております。まことに申しわけないんですけど、この部分は御負担願いたいということで、利用者さんのほうにも御説明させていただいてます。済いません、今のままでやらせていただければというふうに思っております。よろしく申し上げます。

○副委員長（福木京子君） はい。

○委員長（原田素代君） どうぞ皆さん、いろいろ気になることがあったら。

もう一つお尋ねしたいんですけど、あかまつ荘の設計のほうは、いつ上がるんでしたっけ。今年度、12月中、どっちでしたっけ。

○社会福祉課長（国正俊治君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、国正課長。

○社会福祉課長（国正俊治君） まず、契約の期間ですけど、2月10日を予定しております。今年度いっぱい設計を上げて、新年度当初で工事をしたいというふうなことで御説明させていただいたと思います。現在の進捗状況ですけど、基本設計部分がほぼ終了してしまっていて、詳細設計のほうに移っております。あと、細かい詰めあたりに現場のお知恵もいただきながら9月議会で一般質問なんかでも御指摘いただいておりますように、経済的な工法の選択、設計士さんも頑張ってもらってますし、現場の方も知恵をいただいております。例えば、ボイラーなんか更新するんですけど、ボイラーって結構高いんですよね。ですから、個別の給湯器ですね、ガス給湯器の小さなやつをつけて、個々に給湯するような仕組み、そうすることによって大幅に経費が節減できるようなこと、これも現場のほうからそういうようにして、お風呂のところの一つ一つ細かいのをつけて、手洗いのところは蛇口の下に小さな瞬間湯沸かし器のような電気式のものがあるんですけど、そういうのをつければ総合的にボイラーを管理するよりはずっと工事費も安くつくし、いいよというような提案も受けて、その後に設計に反映して今まとめておるところでございます。

○委員長（原田素代君） わかりました。2月10日ですね。

ほかにはよろしいですか、もうきょうは。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、ないようですので、以上をもちまして第12回厚生常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、内田副市長、御挨拶をお願いいたします。

○副市長（内田慶史君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、副市長。

○副市長（内田慶史君） それでは、本日は平成27年度の事業の進捗状況、それからその他の項におきましては、12月定例会議会の提案予定案件につきまして協議をいただきましてまことにありがとうございました。執行部におきましては、今月末から開催予定となります12月議会定例会に向けて諸準備をしているところでございます。多くの議案を予定いたしておりますけれども、どうかその節には十分なる議論を賜りますようよろしく願いをいたしたいと思っております。

以上でございます。本日は大変ありがとうございました。

○委員長（原田素代君） ありがとうございました。

これで本日の委員会を閉会といたします。

午後2時4分 閉会